

びとこまメンバーに取材しました!

Q 新しい美術館でやってみたい企画は?



あべ もえか記者

フェルト小物の展示です。ふわふわしてかわいいからです。

Q びとこまで一番楽しいことは?



いとう なつみ記者

取材です。色んな人とお話しできて、楽しいです。

以前から、子どもと大人をつなぐための活動をしていました。教育は学校だけじゃない、色んな人に色々なことを聞く体験が、子どもにとって大切だと思っています。今回、美術館が出来ることを知り、小・中学生の子どもたちが記者になつて広報を作ることを



びとこま編集係
おこ
小河 けいさん

2年前に来苦。子どもと大人をつなぐ活動を何かできないかと、『樽前arty+』とともに、美術館を子どもたちが広報する『びとこま』を結成。市内小・中学生16人のメンバーで活動。

学校でも家庭でもない、苦小牧のあちこちから集まったメンバーという環境や、自由に感じて良いという美術や芸術の力があつたのではと思います。やっぱり子どもの成長はすごいですね。
びとこまは、美術館が完成したら終わりではなく、子どもたちと相談しながらできる範囲で続けたいです。そして、これまで見守ってきた美術館がもっと楽しい場所になればと思います。

インタビュー

美術館広報部『びとこま』について聞いてみました

子どもが美術館を語る
ユニークな取り組み
美術館広報部びとこま

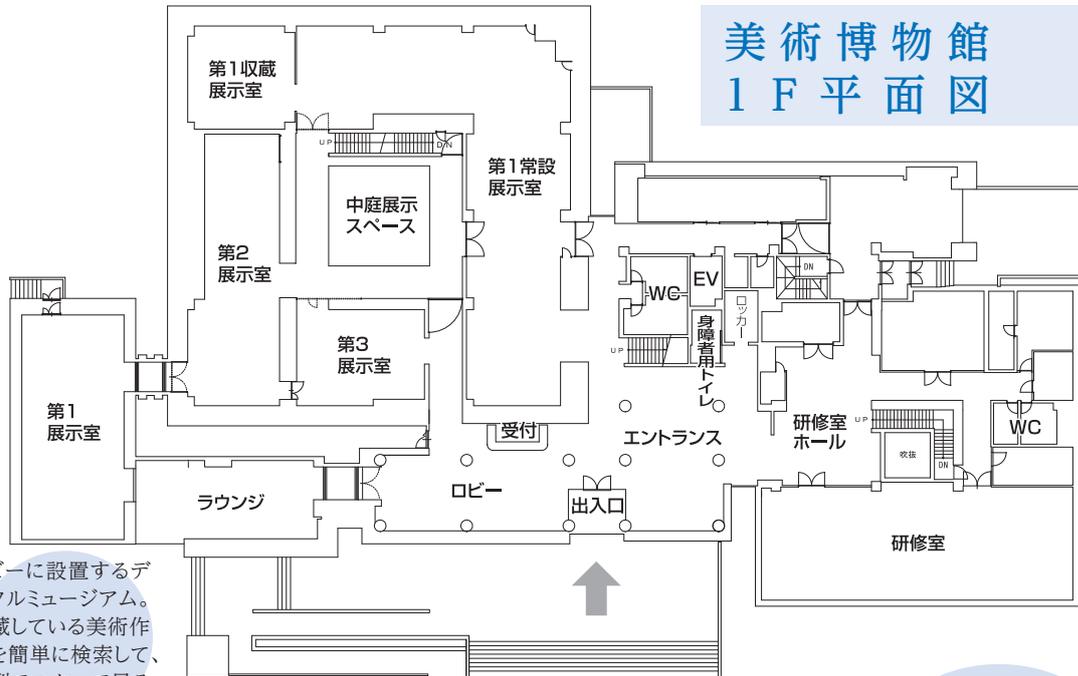


(びとこまは、市HPで見ることができます。)

考え、樽前アーティプラスの協力のもと、ボランティアとして始めました。

美術館が出来上がるまでの瞬間に立ち会う貴重な体験を、子どもの視線から広報した『びとこま』は、これまでに5回発行しました。苦小牧だけではなく、札幌の美術館に行ったり作家の人を取材したり。内気だった子どもが、記者としてしっかりと取材できるように成長しました。保護者の方も驚いていましたね。

美術博物館
1F 平面図



ロビーに設置するデジタルミュージアム。収蔵している美術作品を簡単に検索して、大型モニターで見ることができます。

新しく展示スペースとなった中庭では、地元作家の展示を予定しています。



展示室は3つ。鑑賞のしやすさを考慮し、高い天井を採用。壁が白く、床はフローリングで、明るい印象です。

身障者用トイレは、多目的シートを置くほか、オストメイトに対応しています。



開館時間 9時30分～17時
休館日 毎週月曜日・年末年始
料金 (特別展以外) 一般 ¥300円 大学生・高校生 ¥200円 中学生以下 ¥無料
詳細 美術博物館
TEL (35) 2550 FAX (34) 0408



ラウンジからは文化公園をゆったり眺めることができます。春は桜、冬は雪景色など、季節を楽しめます。